

令和8年度 第1回 函南町立図書館協議会 議事録

- 1 日 時 令和8年6月12日(金) 午前10時00分～午前11時25分
- 2 会 場 かなみ知恵の和館 2階 研修室2・3
- 3 出席者 会長 石田 和久 学識経験者
副会長 加賀谷 圭子 家庭教育活動者
委員 大村 慎一 学校教育関係者
委員 鈴木 薫 社会教育関係者
委員 佐藤 泰博 社会教育関係者
委員 秋田 真子 学校教育関係者
委員 遠藤 弘美 学識経験者
久保田 浩子 教育長
事務局 森田 裕之 生涯学習課課長
杉山 守 函南町立図書館館長
牧野 満枝 生涯学習課(図書館)主事
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 内容
- 1 開会
 - 2 あいさつ 久保田 教育長
 - 3 委嘱状交付 新任委員(大村委員、鈴木委員)へ教育長から委嘱状交付
(教育長退席)
 - 4 函南町立図書館運営の基本方針及び図書館協議会の役割について
・ 図書館の設置及び図書館協議会の役割に関する条例と規則、「読書のまち・かなみ宣言」を説明し、町全体で読書のまちづくりを推進する方針を示した。
 - 5 報告事項 (1) 令和7年度事業報告
・ 令和7年度に実施した図書館事業について、参加状況、実施内容等を新聞掲載記事等も示して報告し、併せて図書館の年間利用状況と蔵書数等についても報告した。
 - 6 協議事項 (1) 令和8年度事業計画について
・ 年間の行事計画について説明し、委員全員の賛成により承認された。

各委員から出された意見

- 委員 利用者数、貸出し冊数が少なくなっているとのことだがどう考えているか。
- 事務局 はっきりとした原因はわからないが、デジタル化などで利用者数が減っていると考えられる。貸出し冊数が利用者数の減り方よりも減っているので1人当りの貸出し冊数も減ってきているのではと考える。来館者数は増えているので、その人たちに利用してもらう工夫が必要と考える。
- 委員 利用者数の子どもとは何歳までか。
- 事務局 18歳までである。
- 委員 子どもの数が減少しているのでその影響もあるのではと考える。
- 委員 令和7年度からブックスタートが奇数月開催になったのはなぜか。
- 事務局 令和6年度までは毎月実施していたが、対象者が少ないため奇数月開催とし半分の回数にした。

- 委員 ブックスタートのボランティアの人数は足りているか。
- 事務局 今のところは問題ないが、他のボランティアも高齢化しているのでこれからは確保が難しくなるのではないかと考える。
- 委員 今のボランティアは開館当時からの方が多いので、ボランティアの確保のため、募集、育成が必要と考える。
- 委員 今活動しているボランティア団体でも人材確保は難しい状況である。
- 委員 学校関係、幼稚園関係でもボランティアへの父兄の参加が難しい状況となっている。
- 委員 ボランティア団体への加入の仕方などの広報も必要と考える。
- 委員 ボランティア団体への活動要望は様々な事業で多くある。
- 委員 ボランティア活動の良さは関係者にはわかるが、それ以外の方への広がりが難しい。
- 委員 「りんごのたな」が図書館にできたことは大変すばらしいので、小学校などへの波及効果も期待したい。
- 委員 おはなしCDもあるので、幼稚園などで活用したい。
- 委員 「りんごのたな」があまり知られていないので、1階での展示なども検討してほしい。
- 事務局 「りんごのたな」のアピール、活用方法など検討していきたい。
- 委員 イベントで様々な工作や体験をやっていてありがたい。特に図書館司書になろう！では貴重な体験ができていると思うが、子どもの土日の参加が今難しいので、夏休みの平日にやっていただくとありがたい。
- 委員 出張図書館in仏の里では実際に本を読んでいる人がいて図書館との繋がりを感ずることができている。
- 委員 仏の里は町の施設であるのでタイアップしやすいが他の施設でも検討してほしい。
- 事務局 湯〜トピアかんなみから本棚を充実させたいとのことで、令和7年度末くらいに除籍した本を提供したことはある。
- 委員 梅雨の日ガチャという企画を6/9～6/30までやっているとのことだがどこでやっているか。
- 事務局 児童書を借りた人が1日1回できるガチャを1階のカウンターで行っている。

(2) その他図書館事業全般について

各委員から出された意見

- 委員 名前が入っている絵本などの交換会などはできるか。
- 事務局 本を寄贈してもらい公共機関での活用も考えられるが相談してほしい。

7 閉会

※閉会后、有志の委員により「りんごのたな」と「梅雨の日ガチャ」の確認をした。